



ETK2045033B

光ケーブル成端箱
W-OP-U4CMB 工法書

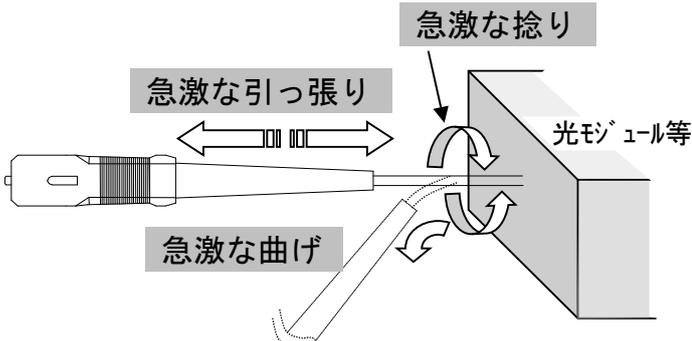
安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本製品に関する安全上のご注意	
 <p>危険</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	—
 <p>警告</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品は、落下などが無いように、固定場所に適したボルトおよびアンカーボルトを使用し確実に固定して下さい。 ・ 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
 <p>注意</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・ 本製品の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。
<p>お願い</p> <p>右記の内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光ファイバ心線の配線に関しては、許容曲げ半径30mm以上をお守りください。 ・ 融着作業に関しては、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 ・ 導入ケーブル追加などの作業を行う際は別途、部品の交換が必要となる場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。

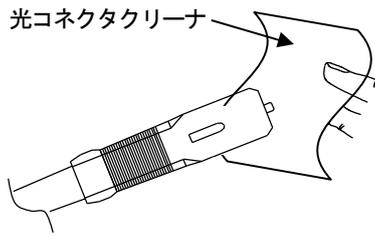
光モジュールや光キャビネットの光コード類、コネクタ部周辺の取扱い上の注意について

1. 光モジュール、光キャビネットのコード類出口近傍の取り扱い



⚠ 光モジュール、光キャビネット等のコード類出口近傍に急激な引張力、曲げ、捻り等を加えると、コネクタ及び光モジュールが破損し、断線する恐れがあります。

2. コネクタ部の清掃について

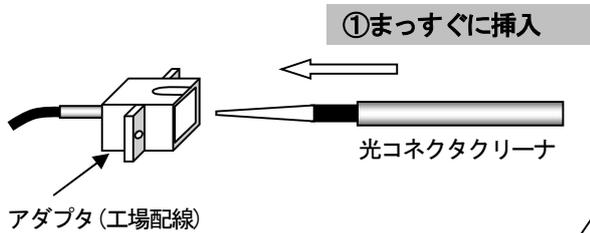


コネクタ先端部(フェルール端面)にゴミの付着や汚れ等がありますと、接続損失が大きくなります。接続前には光コネクタクリーナ等でフェルール端面を充分清掃してください。

3. アダプタの清掃について

アダプタ部にもゴミの付着や汚れがありますと、接続損失が大きくなります。接続前には、先端が細長い光コネクタクリーナ(*)でアダプタ勘合部を充分清掃してください。

特に、工場にて事前に配線している製品については、出荷時に、充分な清掃を実施致しておりますが、接続損失が大きい場合には、光コネクタクリーナ(*)にて下記のような清掃をお願い致します。通常の綿棒はアダプタ内部の部品に損傷を与えますので、絶対に使用しないでください。



②先端が当たったところで止める

③右方向(時計回り)に2~3回転まわす

(*) 製品名: GLETOP スティックタイプ
エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジ株式会社
URL: <http://www.ntt-at.co.jp>

⚠ 左右両方向には回さないこと

4. その他

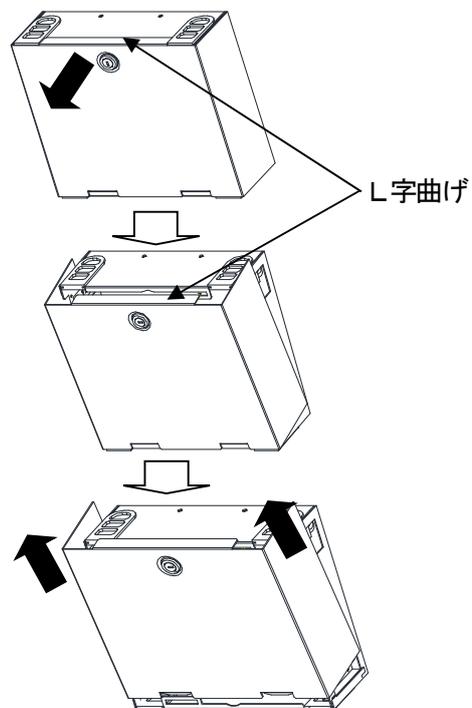
工場にて事前に配線されている光モジュールや光パネル等の製品については、簡単に開けることができない構造になっていますので、無理に開けないようにお願いします。

1. カバーの着脱

カバーの着脱については右図を参照の上、以下の手順に従って作業してください。

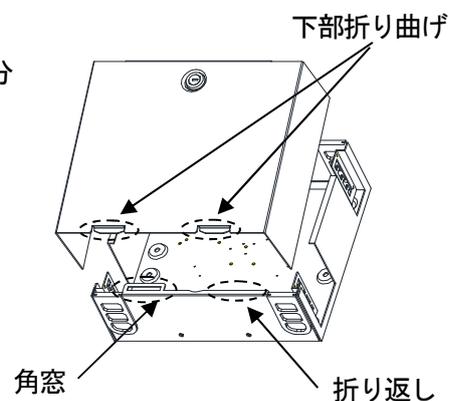
(1) カバーを外す際は、ロックを解除し、カバー上部のみを手前側に引き出し、L字曲げ部分を本体から外してください。

(2) 上部を引き出した状態のまま、上方向にスライドさせてください。



注1) カバーを取り付ける際は逆の手順となりますが、必ず下部折り曲げ部分（左右2箇所）を本体角窓及び折り返し部分に差し込んだことを確認してから上部を嵌めて下さい。

注2) カバーと本体は出荷時に低粘着テープで固定してありますが、輸送時における製品保護が目的のため、剥がしてご使用ください。

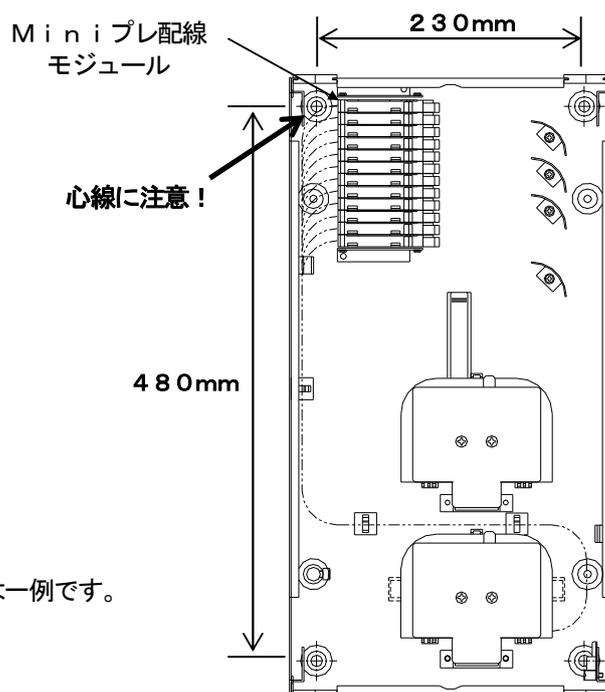


2. 成端箱の設置

右図寸法を参照し、壁面にしっかり固定して下さい。

※本品には固定用のネジは添付しておりませんので、壁面の材質等に合ったものをご使用ください。

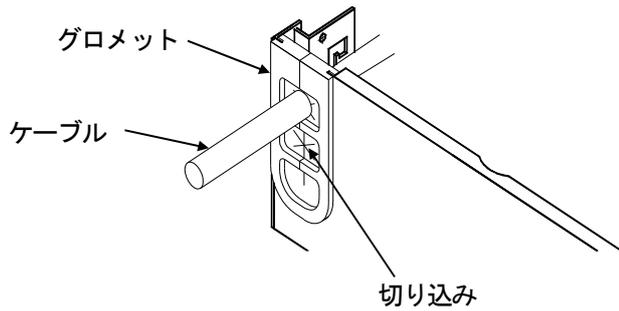
※左上固定穴のネジを締め付ける際、Miniプレ配線モジュール（以下「モジュール」）から導出されている心線にご注意下さい。



※本図は一例です。

3. 光ケーブルの導入出

箱本体底面のグロメットから丸ケーブル・インドアケーブルを引き込んで下さい。
また、必要に応じてグロメットの薄膜部分に切り込みを入れて下さい。

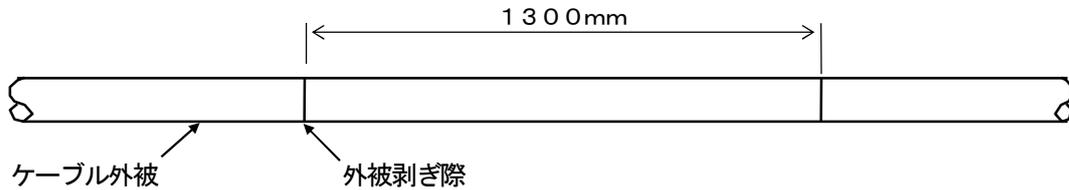


※本図は丸ケーブルの場合を示します。

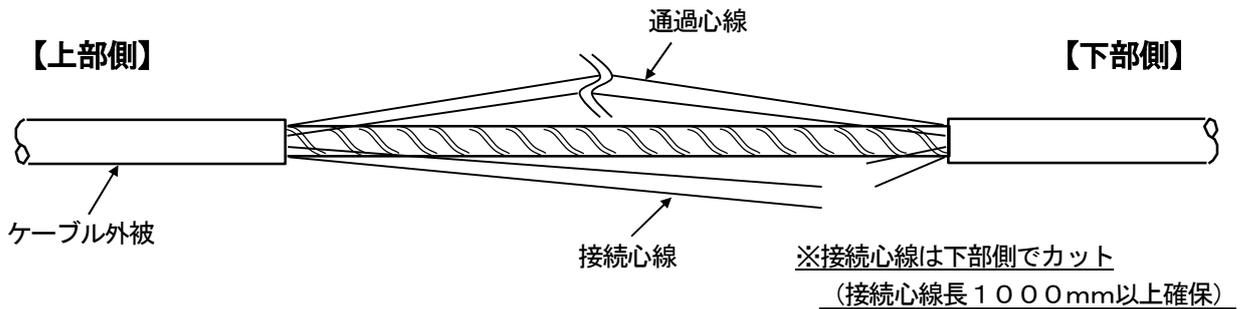
4. 導入ケーブルの処理及び固定

4-1. 導入ケーブルの処理

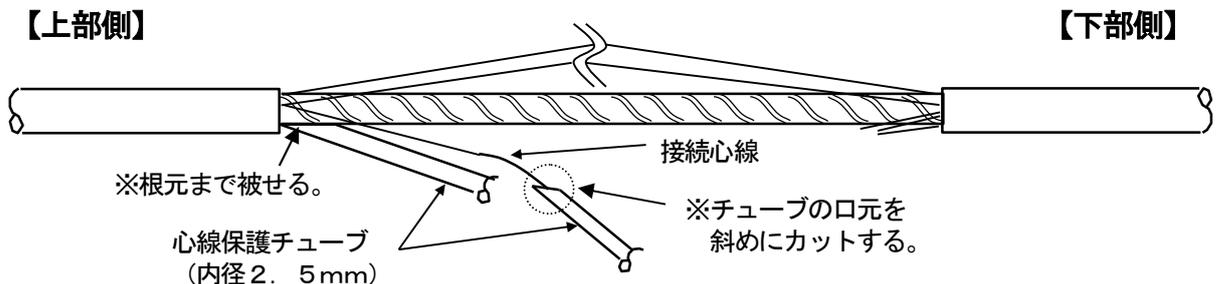
(1) 外被を剥ぎ取り、上巻を除去して下さい。



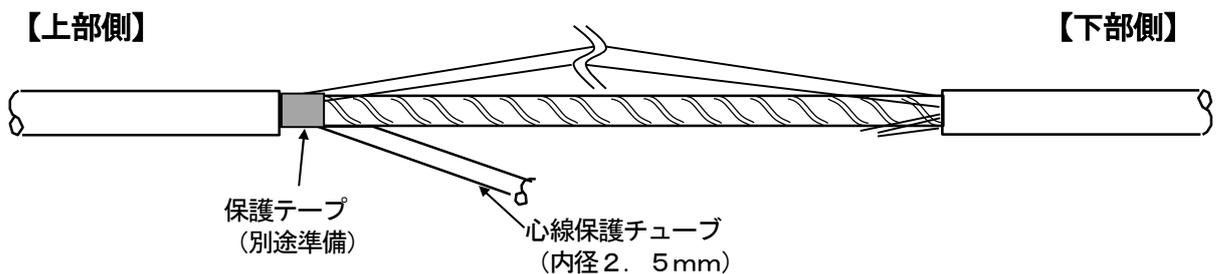
(2) 通過心線と接続心線を分けて、接続心線を下部側でカットして下さい。



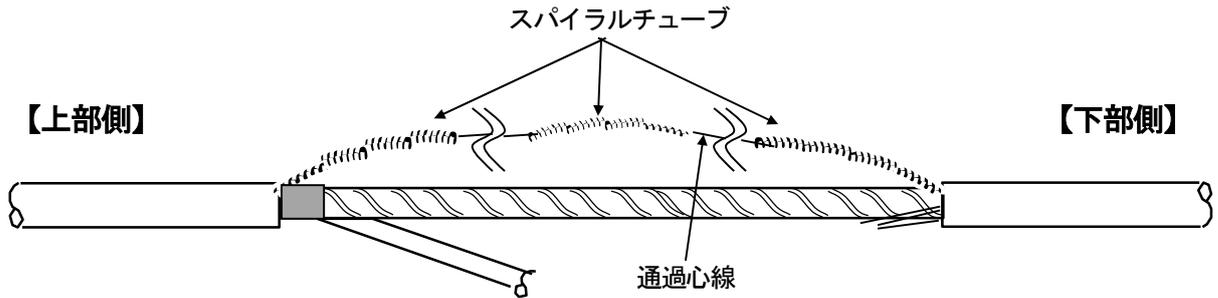
(3) 接続する心線に内径2.5mmの心線保護チューブ(約150mmにカット)を被せて心線を保護して下さい。



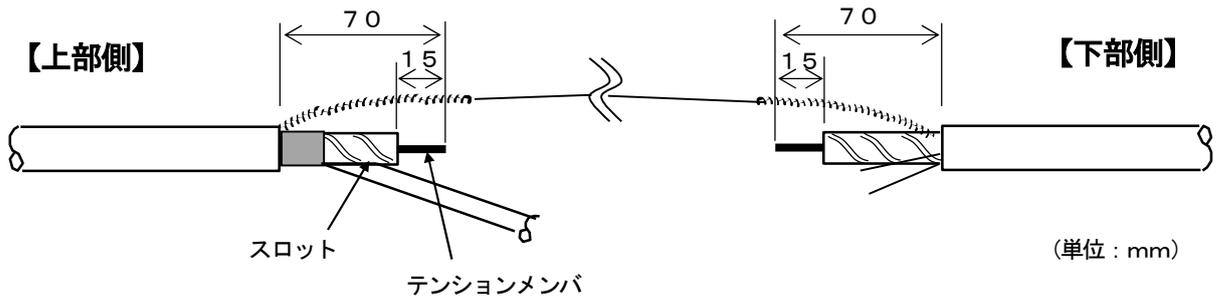
(4) 被せた心線保護チューブ上に保護テープ(別途準備)を2回以上巻きつけて固定して下さい。



- (5) 通過心線に識別用スパイラルチューブ（約100mmにカット）をスロット毎に巻き付けて下さい。
 ※スロット毎に、任意の色を用いて「上部側」「中央」「下部側」の3個所に巻いて識別。

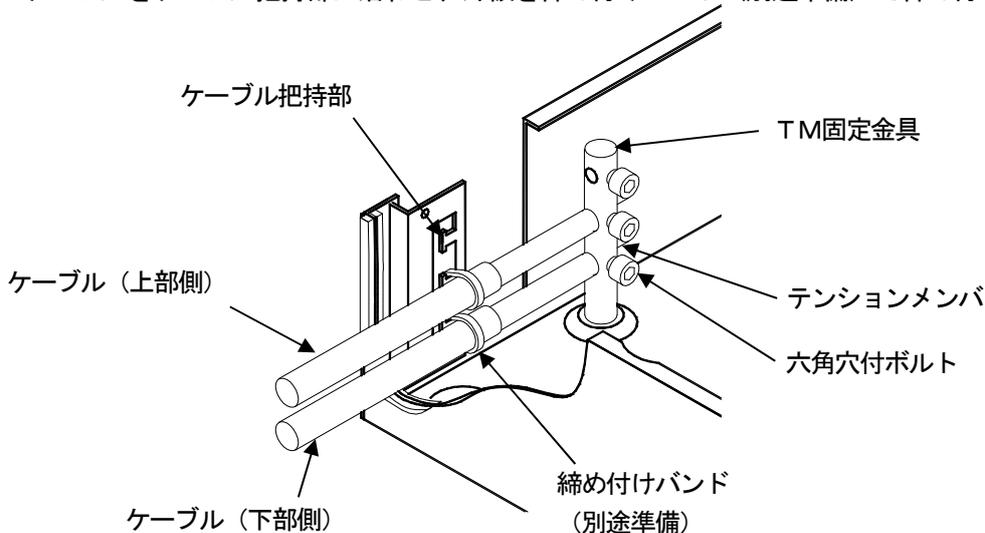


- (6) スロットを切断しテンションメンバを剥ぎだして下さい。



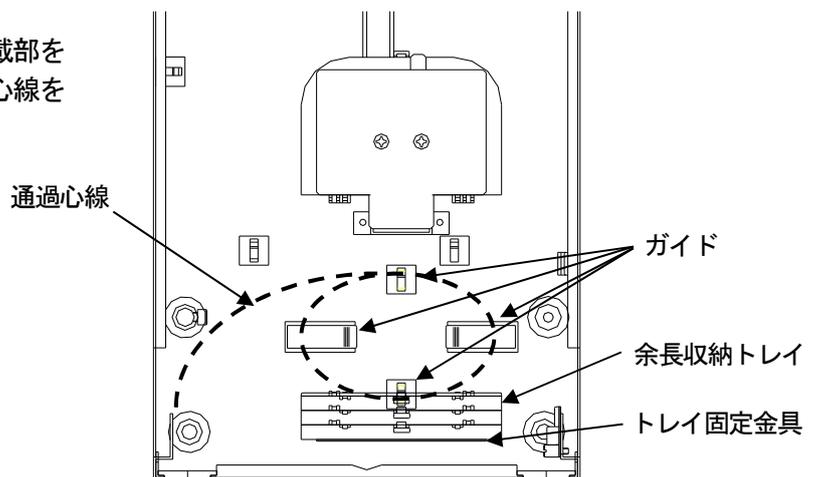
4-2. ケーブルの固定

- (1) ケーブル固定箇所3段のうち、最下段に下部側、中段に上部側を固定して下さい。
 (2) テンションメンバをTM固定金具に挿入し、六角穴付ボルトを六角棒レンチで締め付けて下さい。
 (3) ケーブルをケーブル把持部に沿わせ、外被を締め付けバンド（別途準備）で締め付けて固定して下さい。



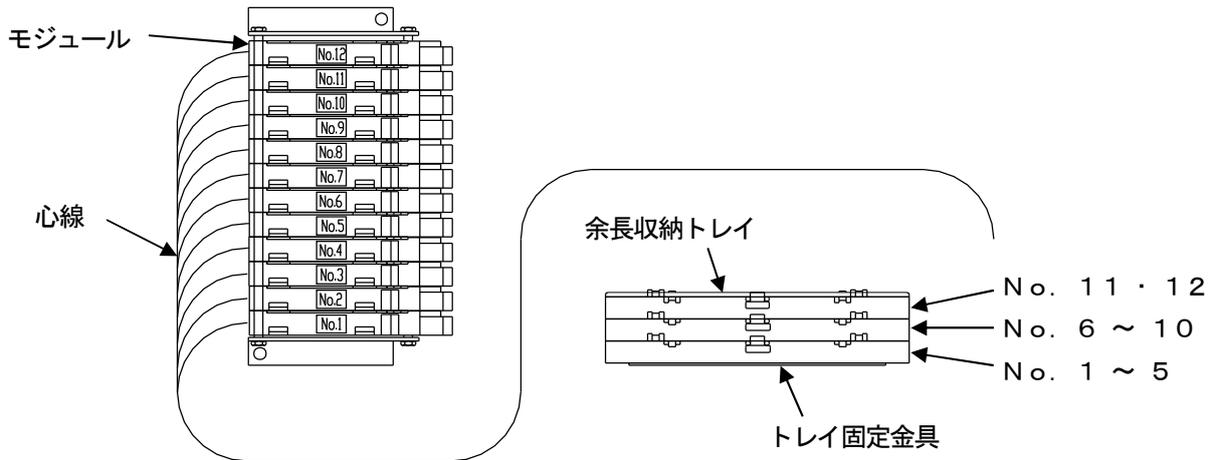
4-3. 通過心線の収納

下側トレイ固定金具の余長収納トレイ搭載部を手前に倒し、奥側のガイド（4個）に通過心線を収納して下さい。



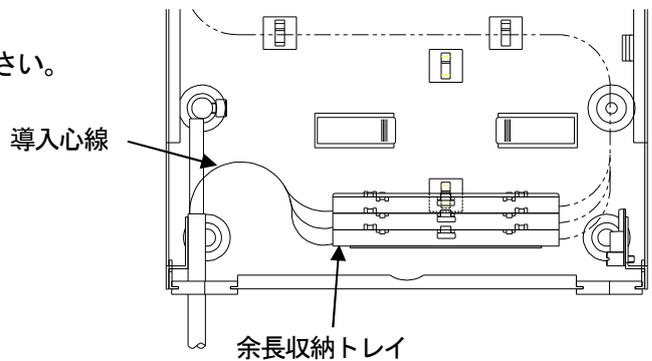
5. モジュール心線の配線

モジュールは下段から「No. 1」「No. 2」・・・の順で搭載されており、各心線は余長収納トレイの下段から5枚毎に収納されております。(下図参照)



6. 導入心線の配線

右図を参考に導入心線を余長収納トレイに引き込んで下さい。

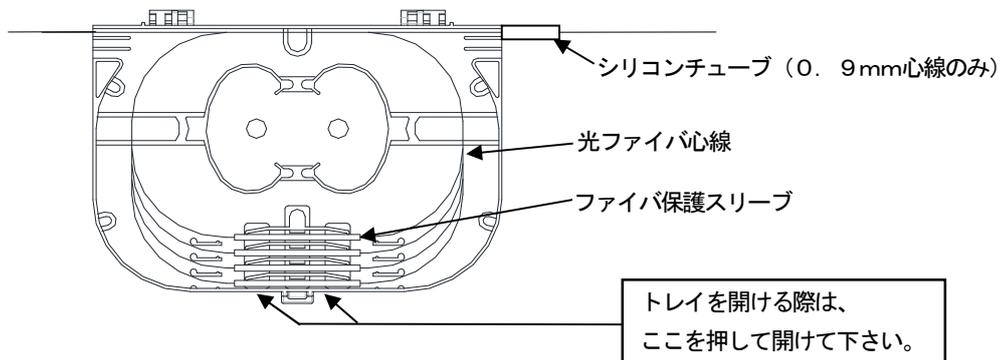


7. 心線の接続および接続余長の収納

- (1) ご使用の融着接続機の取扱い説明書に基づいて光ファイバ心線を融着接続して下さい。
- (2) 融着トレイに接続部を固定し、曲げ半径が30mm以下にならないように光ファイバ心線の余長を収納して下さい。(図は一例です)

トレイ内収納長：800mm
 収納心数：5テープ／トレイ（4心テープ）、8心／トレイ（単心）

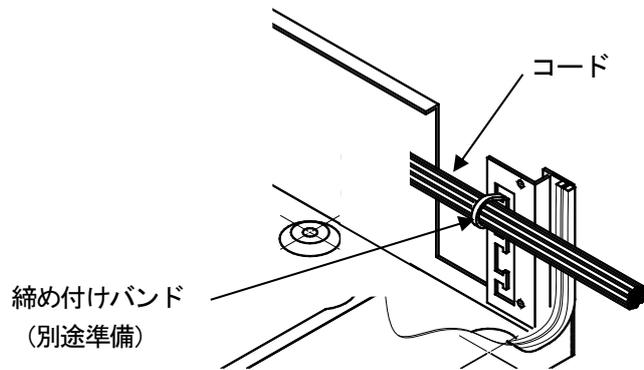
- (3) 0.9mm心線の場合は、トレイの心線入り口にシリコンチューブを差し込んでください。



8. 導出側の固定

8-1. 単心コードの場合

コードを束ね、ケーブル把持部に沿わせて
締め付けバンド(別途準備)で固定して下さい。

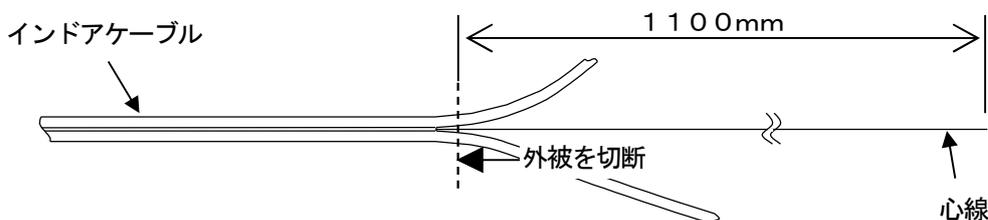


8-2. インドアケーブルの場合

※インドアケーブルの固定には別途オプション品の「インドアケーブル把持具」が必要です。

8-2-1. インドアケーブルの処理

(1) インドアケーブルの外被を裂いて心線を出して下さい。

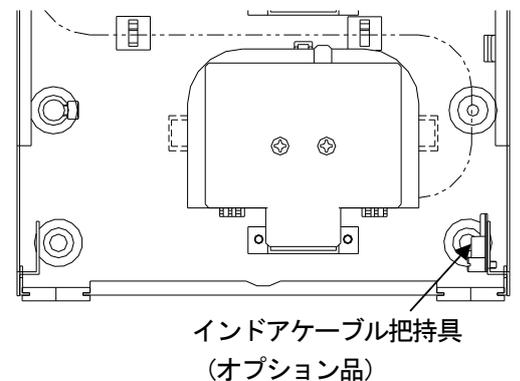
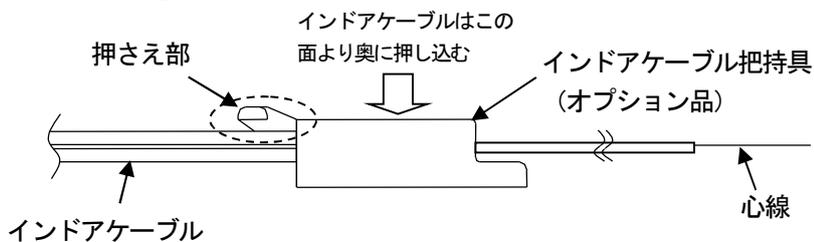


(2) 心線に内径1.4mmの心線保護チューブ(別途準備)を被せて心線を保護して下さい。



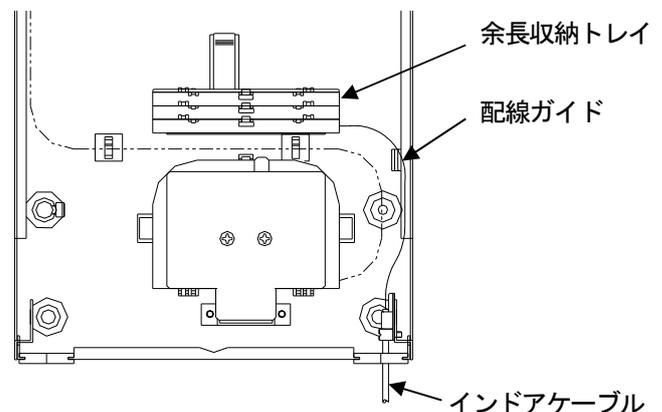
8-2-2. インドアケーブルの固定

把持具の溝にインドアケーブルを押し込み、押さえ部の下まで
挿入して下さい。



8-2-3. インドアケーブルの配線

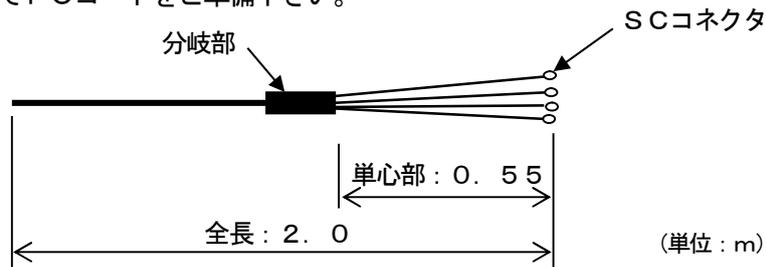
インドアケーブルの心線は、配線ガイドを通して、
余長収納トレイに引き込んで下さい。



9. SCコネクタ付きFOコードの準備及び配線

9-1. FOコードの準備

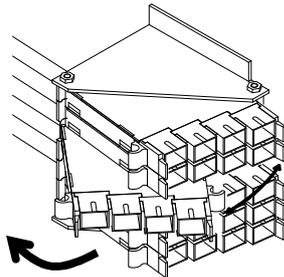
下図の寸法に合わせてFOコードをご準備下さい。



9-2. SCコネクタ接続

コネクタ接続の際は、モジュールをゆっくり回転させて引き出して下さい。

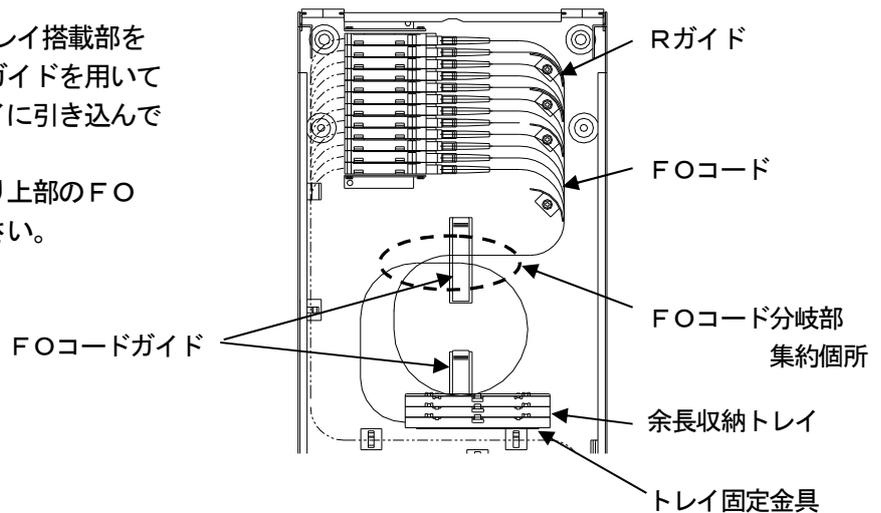
※接続済みのモジュールを回転させる際は、コード等の引っ張りに十分注意して下さい。



9-3. FOコードの配線

上側トレイ固定金具の余長収納トレイ搭載部を手前に倒し、Rガイド・FOコードガイドを用いてFOコードを配線し、余長収納トレイに引き込んで下さい。

※FOコードの分岐部は、可能な限り上部のFOコードガイド付近に集約させて下さい。



10. 心線の接続および接続余長の収納

「7. 心線の接続および接続余長の収納」と同様に心線を接続・収納して下さい。

以上